

令和6年度学校だより

草庵先生に学ぶ宿南小学校

しゅくなみ

宿南小HPアドレス



最終号

令和7年3月19日

ことまど新聞コンクール 金賞受賞



6年生が、神戸新聞社の開催した「ことまど新聞コンクール」に応募して、金賞を受賞しました。「ことまど」とは、新聞づくりが体験できるアプリです。そのアプリを使って6年生が自分たちが栽培した「八鹿浅黄」（大豆の固有種）について学習し、炒り豆やきな粉づくりなどを通して、感じたことや考えたことをまとめました。2月28日（金）神戸新聞社の武藤氏に、宿南小学校までご来校いただき表彰をしていただきました。その後、インタビューしていただきました。神戸新聞で3月中に新聞記事が載ることでした。

最後の里山体験でした



3月6日（木）維田さんにお世話になり、本年度最後の里山体験を行いました。冷たい雨が降る中、以前に植樹を行った木々を見てまわったり、鹿の被害を受けている竹やぶがかれていっている様子を観察したりしました。ご飯と鍋を手作りしてお昼ご飯にしました。昼からは寒かったので囲炉裏のある部屋でネイチャーゲームをして過ごしました。最後に維田さんに感謝のお手紙を手渡しました。

資源回収ご協力ありがとうございました



3月9日（日）PTA親子奉仕作業（資源回収）にご協力いただきましてありがとうございました。安全に事故無く終えることができ大変感謝をしております。この資源回収は、PTA活動の大切な収入源です。近年、収集量が減ってきていますが、今後も変わらず行っていきたくて考えております。ご協力のほどよろしくお願いいたします。

3. 1 1 防災集会を開きました。



本年度3月11日(火)で、東日本大震災が起こってから14年目を迎えます。私は、阪神淡路大震災を経験して、多くの人に助けていただいた兵庫県人なので、やはり、東日本大震災や能登半島地震で被害にあわれた方々には、何か手助けになるようなことはできないかと思えます。東日本大震災では、20mを超える大きな津波が東北地方を襲い、たくさんの人や家が流されてしまいました。集会では、亡くなられた方のご冥福を祈って、黙祷しました。私は、津波の怖さについて子どもたちに話をしました。そして、津波から逃げる方法を一人ひとりが考えてほしいこと、地震についての正しい知識を身につけてほしいことを話しました。その後、東日本大震災を経験された方の体験のインタビューを見ました。その話を聞きながら、語り継いでいくことの重要性を感じました。その後、それぞれの児童から、感想を聞きました。近い将来必ず起こるといわれている、南海トラフ地震。私たちは、これから起こるであろう大地震に備えなければならないことを、改めて感じました。

1年間大変お世話になりました。



保護者の皆様や地域の皆様が、子どもたちのために、交通立番、集団登校の付き添いや見守り活動、授業参観への参加、PTA活動への参加、米作りの田植えから稲刈りまでの作業、運動会、学習発表会(地区文化祭)への参加、里山体験等々、数え切れないほど学校へ、子どもたちへご協力をいただきましたことに感謝しております。本日6年間の本校の過程を終えて、卒業を迎えます。6年生4名は、まるで機関車のような牽引力で宿南小学校を引っ張ってきてくれました。また、一人ひとりがそれぞれ大きく成長してくれました。お別れするのは寂しいことではございますが、更なる飛躍への旅立ちを心から祝い、嬉しく思っています。1年生から5年生は、目指すべきゴールの姿を卒業式会場でしっかりと目に焼き付けてほしいと願っています。1年生から5年生も6年生と同じように、この1年間で成長を見せてくれました。保護者の皆様には、その成長をしっかりと褒めていただけるとありがたいです。

本校職員は、大事なお子様の成長を心から願って日々子どもたちに接してきました。全てが、保護者の皆様の意に添うものではなかったかもしれませんが、ただただ、子どもたちの成長を願っての指導であったことをご理解いただき、今後とも宿南小学校が学校、保護者、地域の皆様で互いに協力をしながら教育活動を進められるようお願いしたいと思います。どうぞよろしく願いいたします。また、1年間大変お世話になりました。本学校だよりが令和6年度の最終号でございます。